家畜衛生だより

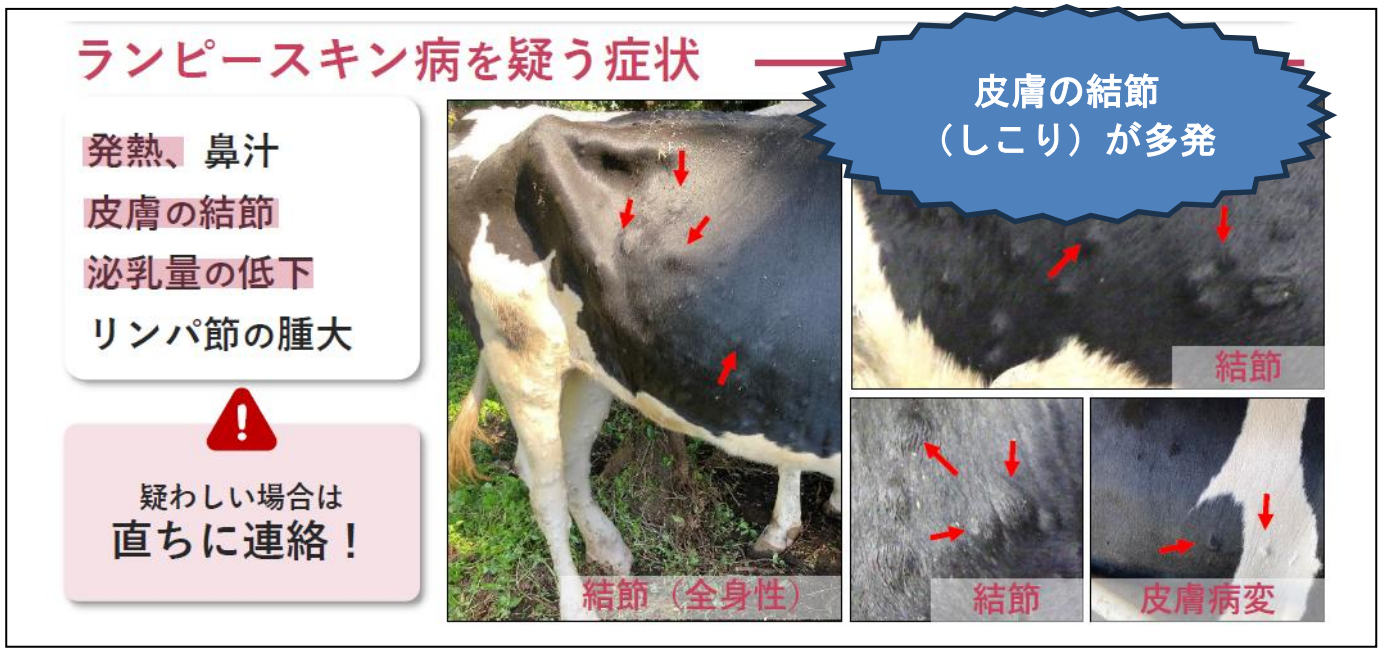
令和８年７月16日　No.14
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL　0235（68）2151
FAX　0235（66）2466

韓国でランピースキン病発生

７月11日、全北（チョンブク）特別自治道の韓牛（ハヌ）飼養農場において、約１年７か月ぶりにランピースキン病の発生が確認されました。

本病は今年５月の家畜伝染病予防法改正により「家畜伝染病」となり、発生が確認された場合には緊急ワクチン接種、殺処分、移動制限等の防疫措置が行われます。

日本では、令和６年11月～12月に福岡県、熊本県での発生以降は再発していませんが、国内侵入に警戒が必要です。



◆毎日の健康観察、早期発見及び早期通報を徹底しましょう。
◆サシバエ、蚊、ダニなどの吸血昆虫への対策を徹底しましょう。
◆衛生管理区域内を整理整頓し、長靴・牛の管理に関わる器具及び畜舎等の設備の洗浄（清掃）・消毒を徹底しましょう。
◆発生している国・地域への渡航は自粛しましょう。また、これらの国・地域から外国人技能実習生を受け入れている場合は、携帯品や国際郵便による畜産物の持ち込み禁止を周知徹底してください。

吸血昆虫（サシバエ）対策は次ページに

吸血昆虫のなかでもサシバエは、**ランピースキン病**や**牛伝染性リンパ腫**などの**感染症を媒介**するだけでなく、**吸血による痛み・痒み**が原因で**増体や泌乳量に影響**を及ぼすおそれがあります。

◆ 卵、幼虫、さなぎの対策



原図　中央家保

○住み家になりやすい、壁や飼槽の隅、溝、ウォーターカップ下、ゴムマットの下やその隙間などを**清掃**する

○牛舎隅など成牛の踏まない場所や子牛の牛床全体へ**昆虫成長制御剤（IGR 剤）**を散布する

○適切な頻度で**堆肥の切り返し・水分管理**を行う

→ 中心温度が 65°C以上になるようにし、発酵熱を高めて殺虫する

◆ 成虫の対策

○**殺虫剤**を用法・用量のとおり散布する

※サシバエが薬剤抵抗性を獲得しないよう、系統（ピレスロイド系、ネオニコチノイド系など）の異なるものをローテーションすること

※製品に記載されている「休薬期間」に注意

○牛舎に**薬剤含侵防虫ネット**（網目が 6 mm 以下）、**ハエ取り紙**を設置する



原図　中央家保

○牛舎周辺の**草刈り**、**防草シート**の設置を行う

→ サシバエの休息場所を減少させる

成虫は生涯で約 600 個の卵を産むことから
成虫を防除し次世代の発生を防ぐことが重要！！

◆ 農場への持ち込み防止

○農場出入り時に**車体を洗浄・消毒**する

○**車体・車内へ殺虫剤**を散布する

家畜に異状が認められた場合は速やかに連絡してください！

庄内家畜保健衛生所：0235-68-2151（夜間・休日は緊急携帯電話へ転送）